

2021年5月21日

報道各位

一般社団法人 日本電気計測器工業会

曾禰 寛純（アズビル株式会社 代表取締役会長）が新会長に就任

一般社団法人日本電気計測器工業会（JEMIMA）は5月21日、JEMIMA 計測会館（東京都中央区日本橋蛸殻町）ならびにWeb（Cisco Webex Meetings）のハイブリッド方式にて 第 62 回定時総会を開催し、新役員が選任され、引き続き理事会を開催し、曾禰 寛純（アズビル株式会社代表取締役会長）が新会長に選任されました。

【新正副会長】

会 長	曾 禰	寛 純	（アズビル株式会社 代表取締役会長）
副 会 長	齊 藤	壽 一	（株式会社堀場製作所 代表取締役副会長兼グループCOO）
副 会 長	西 島	剛 志	（横河電機株式会社 取締役会長）
専務理事	富 田	健 介	（一般社団法人日本電気計測器工業会）

※別紙役員名簿をご参照ください

【曾禰新会長 メッセージ】

2020年から始まったコロナ禍、未だ収束が見えず、経済は大きく打撃を受けています。一方ではデジタル化を加速して業績を伸ばしている企業や、一気にデジタル化が進んだ分野もあります。ウィズコロナ、ポストコロナのニューノーマル時代を見据え、JEMIMA も今まで培ってきたベースを携えつつ、その潮流の先端を走ることが求められていると認識しています。

そのために以下3つを基本方針とし、重点的に取り組みます。

1つ目は「ニューノーマル時代のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進による工業会活動の進化」です。デジタル化と社会変革という世の中の節目に対し、データ生成、運用から管理までの幅広い領域をカバーしている当工業会は、第1のテーマをニューノーマル時代のDXと定め、産業や社会インフラのDXにおいて、会員企業による付加価値の拡大を進め、同時に会員企業を含む工業会自身のDXも進め、両面に対する貢献を目指します。時間や場所にとらわれない活動の実現等も含めて、具体的な推進検討は、新たにタスクフォース「DX推進検討タスクフォース」をつくり進めます。

2つ目は「データ社会を支える計測技術の技術革新・進化」です。

今、社会の進化、産業の発展の要はデータであり、産業界や社会インフラにおいてそのデータを生み出しているのが「計測・計量機器」です。社会において、データの範囲を拡大・活用し、データの正しさを確実にする「計測・計量技術」と「計測標準や国際標準」等に対する理解・貢献が、新しい時代にはますます重要になるものと思われます。まさにそれはJEMIMAの領域、土俵であり、その重要性を再認識し、強化することが、JEMIMAの価値を高めることにつながると考え、内外と連携し発信して参りたいと考えます。

3つ目は「繋がる JEMIMA へ」です。

繋がるというのは、コミュニケーションです。

コミュニケーションができている状態で、コミュニケーションに価値がある時に、繋がりが強化され、関係が近くなります。JEMIMA の価値をよりオープンに提供してゆくことが、会員企業、お客様及び産学官の関連機関・団体との関係を強化することに繋がります。JEMIMA は展示会やセミナーを通して、長くこの繋がりを強化してきました。昨年の計測展 2020 OSAKA 「ハイブリッド展」を通じて整備したインフラを、本年度の IIFES2022 に活用すること等による価値提供で、より一層、会員企業、お客様及び産学官の関連機関・団体との関係を強化し、工業会の価値及び会員満足度の向上を進めてゆきたいと考えます。

以上3つの基本方針を柱に据え、歴代会長が積み上げてこられた基盤を受け、多くの関係者の皆さまのご協力を仰ぎながら、JEMIMA 理念にある「会員企業」「顧客」「社会」に貢献する、さらに魅力ある工業会にすべく努力してまいる所存です。

引き続きの皆さまのご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

大きく変化する JEMIMA に是非ご期待ください。

以上